

一分八間

手元一分の狂いが、末では八間の差を生じるという言葉です。

人の成功を、我がことのように共に喜び得るか、そねむか、うらやむか。

人の欠点を、かばうか、あばくか。

人を褒めるか、けなすか。

軽い湯飲みを両手にささげ持って重く戴く人、重い理や言葉を軽く受け流す人。

こうした日常の些細な心遣いや行いの積み重ねが、その人の将来の運命を決めます。

いんねんの立て替わる境界線がここにあるのです。